（大正十四年四月十五日第三種郵便物認可）

京都帝國大學新聞

每月三回五の日發行
價　一部五錢（郵税とも）一年一圓（郵税とも）
廣告料　五號活字一行金六十錢 記事中は右金額の二倍 掲載頁の指定は二割増
發行所　京都帝國大學 學友會新聞部 電話京都上九八〇番 振替大阪七三二八九
發行編輯兼印刷人　入山雄一

理工兩學部を先陣に 十五日から入學試驗
激戰の醫學・建築は三人に一人

既報の通り七學部中法經二學部以外の各學部は來る十五日の工農二學の入學試驗を皮切りとして、角帽への入試戰線が張られることになつたが、試驗の期日と課目は左の如くである（括弧內上は志願者數、下は收容定員數）

◇醫學部（三五一—一二〇）
十七日午前九時—正午　物理、化學 數學
同 日午後一時—三時　外國語 動物、植物

◇工學部（土木七五—三五、機械五七—三五、電氣一九七—五〇、應用化學四〇—二四、建築四二—一五、採冶は無試驗）
十五日午前九時—十一時　物理
同 日午後一時—四時　圖畫
十六日午前九時—十一時　數學
同 日午後一時—三時　化學

◇文學部（史學六一—四〇、獨文二六—一五、他は無試驗）
十九日午前八時—十時　國文
同 日午前十時—正午　漢文
同 日午後一時—三時　史學
は外國語和譯（英獨佛の中一）獨文は獨文和譯、和文獨譯、書取

◇理學部（數學三二—二〇、化學三六—二八他は無試驗）
十八日午前八時より　數學、物理、化學・外國語（未定）

◇農學部（農林化學三〇—二五、農林工學一二—一〇、他に定員に滿たざる學科あるも傍系出身者の學力檢定を行ふを以て、第二募集をなすや未定）
十五日午前九時より　課目は當日發表する
傍系出身者の學力檢査試驗は
廿二日午前九時—正午　動植物
同 日午後一時—三時　論文
廿三日午前九時—十二時　物理 化學
同 日午後一時—三時　外國語

尚ほ經濟學部では定員二五〇に對し志願二二四で、三月末日まで第二次募集を行ふが募集人員を超過の見込みで課目は未定だが、締切翌日即ち四月一日試驗を行ふ筈

卒業試驗もよそに 白熱化す就職戰線
新學士の殺到する 社會機構內の空地は？

漸く卒業試驗も終らんとして、追はるる如く大學を出る千餘の新學士は「社會機構のうちの空地」目指して殺到する、全國の專門學校以上の新卒業生二萬をいれるには、社會は餘りに不況である法經兩學部を除く五學部は比較的平靜であるとはいへ、もつとも「危い」といはれるこの二學部の大部分が文字通りの有閑階級を強ひられるとは——これでは學士に投じた資本を株券に投じた方がよかつたと今頃になつて算盤をはじいても始まらぬ話だ、かくて三月末にかけて白熱化するであらう就職戰線は如何に展開しつつあるか——

依然困難な就職狀態 四苦八苦の法經

廿五日に締切つた大阪商船を最後とする法經兩學部の就職申込は左の通り

	採用數	志望者數 法	志望者數 經
第一銀行京都支店	▲二	三	四
帝國人絹	一	六	—
三菱合資	一兩名	四五	三七
日銀京都支店	▲一	八	
大阪鐵工所	兩三名	三六	—
三井鑛山	二	二三	—
日東捺染	一	三	—
大阪商船	▲一	一六	一八
山口銀行	一	—	二三
川崎第百	一兩名	—	二三
扶桑海上	一	—	三
大阪機工	一	—	八

（▲印は法經を通じてなり）

尚、現在募集中のものは、鐘紡一二名明治生命二（▲）保田保善數名大藏省數名（▲）太平生命京都支部若干名、扶桑海上火災一名である

朝日每日へ 志望激增
文學部の新現象

文學部の今年の卒業者は、約一七〇名の見込みであるが、その中、大學院に入るものは約二割、あとの八割が、就職することになるが今年は例年よりや〻困難な狀態で全體の七割位が就職する、就職先は多く高校、專門、中等諸學校の教師であるが、目下何れも交涉中で、本月末にならなければ確定せぬ模樣である、今年の就職先希望の中著しく目立つのは、朝日、每日兩紙に各十五名位、合計三〇名位の志望者があつたことで、全體の一八%が新聞に走ることは極めて注目すべき現象である

眞理を求めて エトランゼの旅へ
古都を後に出發の新進助教授

春來らんとして、花の都を後に、遠く異鄕に旅立つ若き助教授達は學年末の此頃を洋行準備に忙殺されてゐるが斯學の碩學を求めて其抱負を敲き、輝かしい希望を聽く

上田助教授（理）　天文

天文學測室の上田穰氏は、來る十三日神戸出帆のサイベリア丸で米國へ渡り、バークレー天文臺で、ロシナー教授について、天文觀測の實地の經驗をつみたいとのことである

岩井助教授（文）　心理

心理學の岩井勝二郎氏は來る十四日宮崎丸で神戸出帆の豫定だが、目的地はライプチヒだが、氣焰をあげる材料は何もないと謙遜されつゝも座談のうまい同氏は

京大の心理學は傳統的にライプチヒの流れを汲んでおるから僕もそれに倣ふわけさ、然し各國の新進心理學者はベルリンに集まるので、兩都の間を往來して學生々活に若返るよ。英、佛、墺も一通り廻つて見たい。面白いとがあれば滯歐通信を送るかも……

といふ談論風發の愉快さ。

倉內助教授（工）　採鑛冶金

冶金教室の倉內吟三郎氏は、岩井氏と同船でドイツへ出發の筈だが船室の都合で、二十日頃陸路シベリアを經て伯林に入るかも知れないと、氏は快よく語る

こちらで、あれこれと考へてゐたとて、向ふへ行つて見なければ解らないから、伯林で二、三箇月は語學の勉强かた〴〵實地見學をやつて、徐ろに研究のプランにかゝるよ。ドイツの外に歐洲諸國も巡り、歸途はアメリカを經て歸國する豫定だ、これといふ道樂もないから、たゞエトランゼとして見たり聞いたりするだけだよ、ハヽヽ。

と最後は、晴やかな哄笑。

北村助教授（醫）　生理

生理學教室の北村直躬氏は、三月廿八日神戸出帆の郵船白山丸でマルセーユへ、ベルリンに向ひ、研究期間の二年の大部分をベルリン大學で、人種生理と體質學をクラウゼ教授に就て研究すると、悠々とジユセ・メーデルスの煙を吐きつゝ

僕は專攻が生理學で、運動が好きだから、運動生理學もやる大體日本のスポーツは近來著しく發達したといふが、それは米國流の興行的方面のこと何と云つても運動生理の科學的研究ではドイツだね、日本は科學的研究が足らない、ドイツあたりでは日本の柔道も知々盛で技術の上では却てまさつてゐる位だ、だから僕は日本の武道の眞精神を紹介するつもりだ

と大變な意氣込みである

內野助教授（醫）　醫化

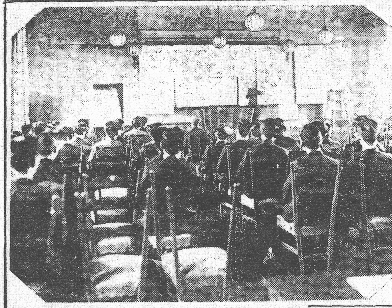
醫化學の內野仙治氏は、二月二十七日附の辭令を以て洋行を命ぜられたので、本紙〆切りまでに具體的のプランをきくに至らなかつたが、洋行助教授の殿として、フランスを經てドイツに入り、あちらの大學の研究室に入る筈

本學理學部 琵琶湖の新研究に著手

理學の殿堂、本學理學部大津臨湖實驗所では從來滋賀縣琵琶湖を本體として理學的研究を行つてゐたが、四月の新年度から定員二名を倍に增員し之等の從來の研究の外目下滋賀縣全體の問題となつてゐる瀨田川に於る人造絹絲汚水の徹底的調査を進める一方、更に魚類は如何にして繁殖し、或は減少して行くかに付、琵琶湖の生物學的氣溫調査も開始する計畫である。この調査は從來幾度か企てられてゐたが種々の事情のために未だ完成するには至らなかつたもので完成の曉には直接には滋賀縣民の利益となり、更に延いては我國湖沼の水產にも大きな効果をもたらすこととて斯界注目の的となつてゐる

花山の本學 新天文臺
宇宙物學教室も改築

本學天文臺は市電新設のため一部を移轉することになり、昨秋來淸水寺東方の花山山に工事中であるが、該天文臺は天體觀測室及び研究室、太陽實驗室、赤道儀室を備へ、總延坪二百十餘坪、何れも鐵筋コンクリート建、工費全部合計して八萬四千圓である。尚本部構內の宇宙物理學教室でも木造館を鐵筋コンクリートに改造する計畫で目下建築工事中である



研究發表 討論會
物理化學研究室の

去る二日學究會館にて行つた、物理化學研究室の本年度成績發表討論會は別揭寫眞の如く盛會であつた。講演題目は

ワイゲルト効果の研究、ネルンスト透電恒數測定法の改良、樟腦の蒸氣壓並に蒸發速度測定、還元ニッケルに依る一酸化炭素の分解、還元銅の水素吸著、コロイド粒子の大さの分配、運動電氣ポテンシヤル並に熱力學電氣ポテンシヤルの測定、ベケレル効果に就て、臘素及水素の光化學的結合、光による膠質滲透壓の變化であつた

【寫眞は討論會】

思想善導よりも 外國見學を獎勵せよ
烏賀陽教授の歸朝談

昨年八月外遊の途に上つた、海商法の權威烏賀陽教授は、歐洲諸國、米國、南米を巡遊し、ブラジル移民の視察、船荷證券問題の研究及び新刊專門書の蒐集の目的を果して去る二月二十六日歸京したが、訪問の記者に對して左の如く感想を語つた

私の今度の旅行は、短い期間ではあつたが、東西南北の四半球に亘り、ブラジルにも約三週間ゐたが、ブラジルで望んでゐるのは、日本人の勞働だ、だから日本で農業の經驗ある人で、十年辛棒する積りだつたら必ず成功する、しかし、日本の政府の從來の方針はたゞ國內の過剩人口を國外に追ひ出すだけで、これを保護することをしない、第一、現在移民の衞生狀態は極めて惡い、醫療の設備が殆どないそれに、娛樂機關のないため、少し小金が出來れば歸國する、これでは棄民だよ、巡回醫と巡回娛樂の必要は是非必要だ、これには條約による醫師の互認なども急務だらう、更に農產物の販賣機關だ、現在では移民は產物の賣りさばきに困つてゐる、これには、あちらに拓殖機關を置く必要がある、排日などといふのは一部の政治屋のいふことで、日本人は大歡迎だ、要するに必要なのは移民の生活を安定せしめる機關だと思ふ、それに、向うで邦人の爲に盡力してゐる功勞者に恩賞を與へることも大切だね。

私は今度の旅行で强く感じたのはアメリカのドルの勢力だ、殊にドイツでは、どん〴〵アメリカのドルを輸入してすばらしい**復興**振りだ、全く資本の社會化といふか、社會の資本化といふか、ドルの勢力は、ドイツはいはずもがな、米國嫌ひの英國まで進出してゐるから、實に恐ろしい力だ、更にドイツで感じたのは、ベルリン大學の法經の學生は四、〇〇〇人位る、日本で就職難といふが、獨逸ではドクトルのヘル・オーバー（給仕）がいくらでもゐるよ。

全體としての感想としては、日本人はある點まで西洋文明の**摸倣**はしてゐるが、それは單に摸倣で、創造でない、大切なのは創造だ、それには、百聞一見に如かずで、大學生等もどん〴〵あちらへ行くことだ、私の考へでは、思想善導費に三十萬圓も出す位なら、これを補助金にして、どし〳〵學生を洋行させることだね、富士山に登つたり、日本アルプスに行く金があつたら、せめてシンガポールあたりまでゝも行くんだね、富士山なんか今にケーブルで登れるよ、私は政府や大新聞社が率先してやるべきだと思ふ

と話は却々盡きないが、四月からは、又教室に博士の偉軀を見ることも出來るので、未だ見ぬ西歐の國々に憧れつゝ、博士邸を辭した

膠質化學の 研究費寄附
住友家から

本學理學部化學教室は膠質化學研究費として大正八年以來住友家から十萬圓の寄附を受けたが、今回更に一萬五千圓の追加寄附を受けることになつた。同教室の研究問題は直接生產に關係なき純正科學であるが、かゝる純理的研究への寄附は欣會に堪へぬと、主任堀場博士は語つてゐる

來る十六日 簡閱點呼
本館階上にて

來る十六日午後一時より本館階上談話室で、簡閱點呼が行はるゝが參會資格者は大正十四年と昭和三年徵集未教育第一補充兵で、希望者は本日中に軍事教官室に申出づべし、尚ほ入營延期中の今春卒業者は、卒業後二週間內に事故防止屆と入營屆を、本年適齡者は延期願（在學證明添付）を、引續き延期を要する者は在學證明書を、いづれも四月十五日まで夫々本籍市町村長に提出を要するが、詳細はこれまた軍事教官室に照合されたしとのこと。

新醫博二名

◆小林和三郎（本學卒業、香川縣技師）
主論文　睾丸副睾丸並に輸精管の觸性變化に就て（皮膚科紀要モノグラフ皮膚科學研究叢書第二輯　昭和三年三月）
參考論文六

◆岩田秋之助（本學卒業、本學醫學部內科副手及京都病院醫員）
主論文　血行器に對する細菌素の生物學的作用（京都醫學雜誌昭和四年六月揭載の豫定）

二月廿五日の醫學部教授會にて通過。

新刊紹介

◆戰旗（三月號）　血の三・一五事件から、はや一年、僅か三六〇日の間に何と變つたことか、階級戰の鬪士は今や鐵窓通信を書く、本誌の四分の一が、彼等の爲に獻げられてゐるのも無理のないことだ中野の鐵の話は新しい農民の言葉の小說、藤森の力作光の闇とゝもに、我がプロ文壇に於ける近來の佳作といへよう、外に一月上演された左翼劇場のダントンの死の合評會である（一部三十五錢、東京市外落合町上落合六八九、戰旗社）

廣告

各國の原書類 明治初年の新聞雜誌 昔の古本類
高價買入
値段の點は返信附の書面にて御照會下さい、場合に依り頂戴出來ない物もあるかは存じません（電話照會御斷り）
京都三條寺町東入
杉田大學堂

洋服は吉田下大路 大見洋服店

白井直眼鏡店
京都帝大病院前　大阪市東區平野町三丁目

祝光輝アル御卒業ヲ遊バサルル事ヲ
LONDON STYLE
歐洲各國の業界を實地視察し
優秀なる技術と豐富なる經驗を有する
弊店へ是非御下命を!!!
英佛絨直輸入
合名會社 長屋洋服店
京都市寺町通丸太町南
代表電話上(3)四六三番
出張電話上(3)五七四四番
支店 婦人子供服
出張所 下鴨出張所
工場 新椹木町竹屋町
京都帝國大學學友會共濟部御指定

科學器械
中川製作所
京都市西木屋町三條下ル 電話本三三六六番
京都市聖護院西町一八 電話上(2)五六二番

工學博士 谷村豐太郎先生考案
グラフノート
理、工科學研究者 各工場必需品
一冊金卅五錢 內地送料十冊迄十八錢
京都寺町姉小路 鳩居堂

SPRING OBENING

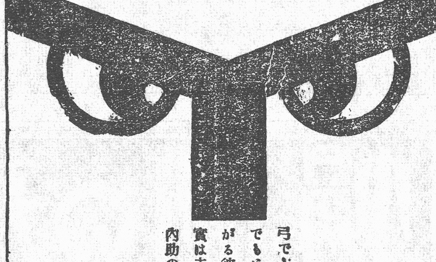
加納ノ洋服
御卒業 御入學……には是非
京都市寺町二條下ル
加納洋服店
電話上(3)一九三四番

歐米書籍直輸入
歐米稀覯書蒐集の驚異
趣味と奉仕の書物屋として良書を迅速と低廉に御提供せんと部員は懸命に活躍して居ます一度是非御來店を御願ひすると同時に御住所を伺つて近着報を御送りしたいと存じます何卒御一報を
新刊書 洋書 絶版書
京都三條粟田
錦光山商店書籍部
電話上三三六五

森岡齒科醫院
京都河原町今出川西入北側
電話上四七〇六番

營業科目
◇出張撮影◇引伸修整◇現像燒付◇器械材料の販賣は勿論、その他寫眞に關することは何でも御相談に應じます

帝大・同新聞部御用
佐伯寫眞館
市內出町橋東二町（帝大表門西二町）
電話上四八六九番


弓でも矢でも強がる彼！
實は赤玉內助の效
赤玉ポートワイン
（卓上瓶は五十五錢）

冬の猛威に打勝つ藥
メンソレータム
ひゞ あかぎれ 火傷 外傷 皮膚の保健
價 25錢 45錢 90錢 180錢
各國の藥店 化粧品店にあり

論説

兩税委讓とその農政的意義

助教授 山田勝次郎

一

國税たる地租及び營業收益税の地方委讓案は、去る二月二十一日の衆議院本會議を所謂僞造の多數に依つて辛くも通過し、目下貴族院に於て審議討論の中心問題となつてゐる。かの農地金庫の新設による自作農創設擴張案（自作農地法案）が山本農相隱職の努力も空しく儚れな程に骨拔きにされ遂に簡單な自作農創設維持助成資金特別會計法となつて去る廿八日衆議院に提出された今日になつてみると、此の兩税委讓案は今議會に於ける現政府の一枚看板となつてしまつたわけだ。然るにも拘らず、去る二十二日に首相問責決議案を通過せしめた貴族院の塞行はとかく險惡低迷、從つて、政局の推移に重大關係ある同案も結局審議未了で握潰しにされるかも知れぬと觀察されつゝある昨今の政情には儘かに興味深いものがある。

然し乍ら、茲に同案を問題にしたのは、さうした見地からではない。題名の示す樣に、若しも同案が實施された曉には、如何なる影響を地方財政上に及ぼし、延いて農民の救濟上如何なる效果を與ふるものか、さうして最後にそは農政上如何なる社會的意義を有するか等に就て少しく考察しようといふのである。尚、本紙の第九十二號には神戸教授の同案に關する論評の紹介と租税制度上是非の論評とが掲載されてゐるが、異つた觀點からの考察も意味あることゝ思ひ、新聞委員の強き頼みを拒み難く、此の一文を草した次第である。

二

さて、去る一月二十六日衆議院本會議に於て藏相の説明せる同案提出の理由は、要約すると恁うである。「地方財政窮乏の現情は、地方に有力なる獨立財源を缺くに原因するが故に、その基礎を強固にし併せてその負擔の輕減と公正とを計り、依つて自治團體の健全なる發達を促し地方分權の實を擧げんがためには、國税の一部を地方に委讓して獨立且確實の財源を與へる外途なしと信ずる」からださうである。勿論、有力財源の缺如にも拘らず近年の地方財政の異常なる膨脹と從つて起る極度の窮乏化とは、儘かに炳乎たる事實である。だがその窮状は、政府の信ずるが如く兩税の委讓によつて果してよく救治されるものであらうか。別言すれば、二月七日の貴族院に於ける菅原通敬氏の評せる如く、同案は萬病に效果なき萬病藥の類にして、畢竟國民欺瞞の政策に終らざるを得ないものではなからうか。

そこで先づ、政府の宣傳する效能書の內容闡明から始めやう。紙面の都合上端的に、數字を以て國民負擔の輕減具合をみると左の通りである。

國民負擔增減表（大藏省發表 單位千圓）

一 國税輕減總額	[illegible]
地租廢止減	[illegible]
營業收益税廢止減	[illegible]
所得税、資本利子税、織物消費税の改正增	[illegible]
二 地方財源とならざる輕減額	[illegible]
土地負擔の輕減	[illegible]
營業負擔の輕減	[illegible]
所得税及び資本利子税改正による新規負擔	[illegible]
三 地方財源となる金額	[illegible]
地方税地租（市町村）	[illegible]
地方税營業税（府縣）	[illegible]
地方税營業税（市町村）	[illegible]
雜種税附加税（市町村）	[illegible]
四 地方税輕減額	
家屋の負擔（府縣）	[illegible]
家屋の負擔（市町村）	[illegible]
戸數割（市町村）	[illegible]
雜種税附加税（市町村）	[illegible]
五 總差引國民負擔輕減額	[illegible]
國税に於ける輕減額	[illegible]
地方税に於ける輕減額	[illegible]

由是觀之、兩税委讓による效果の吟味は二個の見地から別々に相發するを便とする。即ち第一に考ふべきは、國税に於ける土地及び營業負擔の輕減が地主にしても一町以上（地主總戸數の約三〇%以內）營業者にしても中流以上に關係してゐることである。然もその輕減率は土地に就て三四%強、營業に就て二四%強といふかなりの程度であつてみれば、之に對する中流以上の地主並びに營業者の暫時的滿足は勿論のことで、茲に同案の社會的意義を判斷すべき一材料が伏在してゐる。

第二に考ふべきは、地方税に於ける負擔輕減か、府縣税（整理前總額二五二、〇八一千圓）に於て六%強、市町村税（三八一、八九〇）に於てさへ一〇%弱に過ぎないといふことである。だから大體觀察ではあるが、此の程度の負擔輕減を以てして果して政府の信ずるが如く、過度の膨脹に因る地方財源の涸渇をよく救治し得るやは甚だ疑はしく、所謂萬病に利かざる萬病藥の類に過ぎざるは多言を須ゐる迄もない。

要之、國費及び地方費の膨脹と税源の涸渇とを抑止すべき整理緊縮の徹底的手段を講ずることなく唯徒らに租税制度の改變によつて國民負擔の輕減を圖り、且つ地方財政の窮状を救ひ得ると信ずるが如きは、自己を愚弄せんとするに非ざれば、國民を欺瞞せんとする者のみが能くなし得るところであらう。

三

以上は國民一般の立場からの吟味であつたが、次に簡單に、農民殊に小農及び貧農（耕作農家戸數の約七〇%）の立場からすれば同案の實施は彼等の窮乏化に對して如何なる影響を及ぼし得るかを考察してみやう。

前揭表の四によれば、家屋の負擔は府縣で三六・六%強（整理前總額四二、八六七千圓）市町村で一七・五%強（五六、九六四）にして、戸數割雜種税の輕減は市町村だけで、前者は二三・八%強（一六三、三六八）後者は一〇%弱（五二、二九一）である。斯くの如くその輕減率は個別的に見れば全體的に見る場合よりも幾分高きも農村に於ける無產大衆の立場より深き雜種税、戸數割及び家屋税の輕減は表面上僅かに一〇%から高々二〇%位であるに過ぎない。然も一層內面的に村政の實權が如何なる級層に掌握されてゐるかに想到するならば、左記の輕減率も一層割引して考へねばならぬ。

從つて、斯かる輕減策を以て農村の無產大衆が救濟されるものと吹聽するならば、それこそ贔屓の引倒しにして、欺瞞も亦甚しと謂はねばならぬ。

四

最後に、上來の論述を要約し、農政關係より見て兩税委讓が如何なる社會的意義を有するものかを少しく批判してみよう。

地租委讓問題の沿革を回顧してみるに、歐洲大戰の初期地租の輕減が提案された當時は、農村に於ける一般的の高々中小農民の窮乏化が問題とされたに過ぎなかつたところが、戰時及び戰後に於ける日本資本主義の急激なる發展に伴へる資本家的生產關係の農村への一層の侵蝕は、一面に於て農業生產の商品生產への一層の轉化、地主の金融資本家への一層の從屬中小地主の夥しき沒落等を惹起し、他面に於て農村無產大衆の貧窮沒落化、小作爭議の激化に伴ふ農村に於ける階級對立の尖銳化等を招來した。此の結果として、問題の眞實なる意味は、最早單純なる農村乃至農民一般の窮乏化對策ではなくなり 如何にして上述の如き紛糾せる諸矛盾の解決をなし得るやの對策に必然的に轉化せざるを得ない。

今回の兩税委讓案も、曩に提出された自作農創設擴張案も、骨拔きにされた將又肥料管理案や米穀法改正案等も、正しくかゝる情勢の必然的要求に照應するものである。さうして、かの國税に於ける地租の負擔輕減が全く中地主以上の懷柔策そのものであると共に、地方税に於ける輕減の大部分も亦必然的に地主階級に依つて利用さるゝところとなるに過ぎざることを併せ考ふるならば、兩税委讓の眞實なる社會的意義の奈邊に存するかは、容易に之を理解し得るであらう。（三月一日記）

思想善導に關する第五十六議會の問答（速記錄より）

山本委員 私の質問は所謂思想善導費の諸項目に關してであります。私は京大に職を奉じて居た關係上、斯る問題の內容には具體的事實を得る便宜があつた。そした關係上事實をあげて、それに對する文部當局の所見或は對策を承りたいと思ふ。先日淺原氏が、帝大生が聽講中に教室から警察へ引致され、或は正門の前で檢束された事實等をあげて、警官が神聖なる教場に亂入して制服制帽の儘で學生を拉致する樣なことは文相の權威を冒瀆することではないかと質問したのに對して「左樣なことに就いては何等の報告がございません、又私しは左樣なことのないことを信じて居ります」と返答して居るが、其後になつても例へば二月一日四高の學生三名は授業中突如廣坂署に引致された。此の三名は昨年軍事教練反對の先鋒となり又最近は軍教費用を明にせよと當局に迫つたためであると聞くが、斯ることで直轄校の校內に、而も教場に巡査が闖入するといふことは當局では常態なりと考へて居るのかと結べば

勝田文相 其件に付ては未だどう云ふ實際の情況であつたかと云ふ報告は得て居りませぬが併し私は左樣なことはないと思ひます。と押問答あり、更に

山本委員 先年京都大學に於きまして、寄宿舍生が丁度留守中に、其の部屋に居る人の承諾も、舍監の承諾も得ずに臨檢された事實もあつたのだが、斯る度毎に學校當局と警察との間に折衝が行はれる、斯る事實から出發して、詰り文部省は、警官が學校內に這入ると種々望ましからぬ結果が起るから、學生主事と云ふ機關を置かれたのですか

勝田文相 夫れは、學生の極めて純正にして、而して青年新奇を好むといふ樣な心から、外部の誘惑のために或は思想に流れ、又は深い淵に沈溺すると云ふ樣なことを之を指導して避けて行く、隨つて警察官吏などが學校や學生などに近づくと云ふことは自然になくなる譯であります？詰り豫防的に、指導的に之をやると申したのです

山本委員 原委員が學生主事の任務は、學內に於いて刑事巡査の如き役目をするものであるかと質問した時、文相は探偵政治をやるのではない、佛の心を以つて其の職務を行はしめるのであると釋明した樣であつたが今の學生主事がどんな仕事をして居るか、私の調査した所では、主事が學生の下宿を訪問して留守中でも其の部屋に這入つて、書棚を點檢して、思想傾向を調べて歩いて居る、京都では、大學門前の本屋で改造社の經濟學全集の廣告が大きすぎるとて警察署に申立て注意した實例等をあげ文相は、緊急に置いたが、而も數箇月で効果は餘程擧つて居ると考へて居るが、今迄の學生監は大抵坊さんか牧師等人格者であつて、學生生活の內幕に這入つて「スパイ」をやるといふ樣な恥知らずのことはやれない。其處で學生主事が勇敢なる「スパイ」として或は「プロヴォカツール」として、詰り牛地に波瀾を起しても事件を拵へやうとする一つの技術者として送られたと云ふ非難が多い。各帝大では訓育費として三百圓宛計上されて居る、旅費、人件費以外のものであるが、是は如何なる方面に使ふか

勝田文相 主事が學生の善良なる友達として之を指導し之を惡い隧道に陷らせないやうに訓育をするので遠足、茶話會、下宿訪問等色々の場合があります

山本委員 分科會であつたか文相は、今の教育では講義の外に人格陶冶の任に當る人がないから、其の教育の缺陷を補ふ爲に學生主事を置いたと云はれたが實際に於いて是は實行不可能であり、現在訓育費が何に使はれて居るかと云へば、今云つた外に、三大節に出た者に饅頭を食はせた、左傾學生摘發の爲、右傾學生に酒を呑ませ、又は先日大典中京都帝大で行はれた樣に帝大の高官連が出入する處を活動寫眞にとつて、所謂思想善導映畫を作る等に使はれて居る樣だが是等が訓育の全部でありますか

勝田文相 全部と申す譯ではない

山本委員 是は現在の「ブルヂョア」教育の最も徹底した最高學府に於ける問題であり、此處に來る迄に小學、中學で修身と倫理の話はウント聽いて居る思想善導に關しては最も惠まれた環境の中に育つて來て、尙ほ斯る訓育を必要とすると云ふ點に、文部當局は何か自信の缺乏を感じないか

とて思想善導なるものがその本質に於いて、進歩的思想壓迫以外の何ものでもなく、思想善導とは要するに學校當局の意の儘に容易に動く毒にも藥にもならぬ學生を作ることであり、更に弘高のストライキ事件に及び、若し學校當局に不正があれば、學生は當然それを糾彈すべきである。と結べば議場稍混亂し、學校當局の非違に對しては匡正の道は種々あり、學生の關與することを認めぬとの當局の答辯あり、山本代議士よりは更に現在の如く、取締るべき當局に例へば、大東文化協會事件の如きことある時、學校の非違は學生に糾彈權なしとするのは學生に奴隸根性を植付けるもので、立憲政治の本義とも思はれないと云へば、生徒が學校當局の非違を糾彈すべきであるなどとの質問の出ることは國民思想善導上の意外なる質問であると安藤政府委員が答辯すれば

山本委員 思想善導と云ふが「何が善導であるか」との質問に對して首相は善く導くとであると答へたが、其の善と云ふ意味にも、校長、文部當局、青年學生で盛られる內容が異る、思想善導とは具體的には學生にはストライキをやるな、又工場勞働者小作人にもストライキをやつてはならぬと云ふ意味と同じ樣に思はれるが、弘高では校長の非違を糾彈した生徒決議文を主事が握却して、生徒には、落第させるとか、放校させるとか云ふ訓示を出したとか聞いて居る、一體現在は溫情主義的の教育などは行はれて居らぬ。今日の教育は職業教育である。各職を得て立身出世をしようとするためで學校は人格陶冶の機關でなく、知識或は職業的訓練を最も能率よく授ける機關が學校であり、學生は校長先生から人格的陶冶を加へて戴かうとは思つて居ない、だから學校が學生の要求を滿して吳れないならば、茲に種々な要求の起つて來るのは當然なことである。其の要求を滿すことを考へないで、思想警察といふ風な制度を學內に輸入して、放校に處するとか、落第させるとか云つて學生を壓迫して押へ付けやうとして居る。是では決して眞の教育とは云へない……ものは、最早今の學校內に輸入したと云ふスパイの如きものを學校教育が情に學生主事とか云ふもので操とか溫情主義とか云ふことを自ら告白し來つたものであると解釋して、私は是以上、社會觀或は世界觀の相違に基く所の質問を打切りませう。

次に思想善導に關して川崎氏立ち文相が、現在の教授は唯課目の講習をすると云つたを反駁し、學校は倫理道德の訓練所である所以を大學令等を引用して說明し、今日思想の動搖、惡化するのは社會の上位に在る人々の言動宜しからざるによるとて久原氏入閣の一席を辯じ、拔本塞源の道を行はずして、主事と云ふ三千圓やそこいらのスパイ如きものを置いたとて思想の善導は出來ぬ、文相の云ふ如く眞に德育の爲に主事を置くなら少くとも校長に匹敵する程の待遇をしなければならぬとて徒らに斯う云ふ下らない人間を傭うてスパイの眞似をさせたりする今山本君の云つた如く、生徒の下宿屋に行つて詰書調をやらせるなら三千圓出す必要はない、寧ろ右警察の堪能なる刑事を年に六百圓か七百圓で傭つた方が餘程宜い、是が應急策であると云ふか、寧ろ枝葉末節である、文相は思想善導の根本に向つて何等の施設を施して居らぬ—

勝田文相 只今のは、お尋ねではなくて、御議論のやうであります。……

高橋委員 質問打切りの動議を提出致します。

工藤委員 本日の如きは思想善導に關する問題もあり相當政治家としても考へねばならぬ問題である。然るに文相の態度、特に文部參與官安藤君などの言動に至つては以ての外である。……更に議員としては出來る丈け質問を究めて初めて責否を決するの……師弟間の問題は政府當局の見解を發表すると害があると言ふ議員の審議權を狹める如何にも參與官になつたから好い氣になつて居る、恰も上つた樣な面をして居る、昔議場に於ては暴言を列べて居たことを忘れて、議事を乘回せる身分になつて居る、若し國政を審議する上に於て、政府委員の答辯が動もすれば不親切を極め、議事の進行を害して居るから、質問打切に反對する。……

堀切委員長 委員長は動議の採決を致します。贊成者は起立。……

【附記】本紙はさきに「議會通信」なる新しい企てにより、本學關係の代議士の感想を掲載致しましたが豫算委員會に於ける山本宣治氏の質問は、特に我々に關係深い學校行政に關するものでありましたので、速記の要點を拔萃掲載した次第であります。

新しき活動を誓ふ 促進會座談會

入舍制度の改善や學內賣品値下げ等

學友會改善促進會の活動報告座談會は二日午後三時半より本部地下食堂に於いて開催せられた。學年試驗最中にも拘らず會する者五十、役員會に於ける活動の報告並に批判ありたる後、有志、交々立つて「不合理極まる學友會の現狀を」糾へ、促進會の努力を多として今後の支持應援を誓つた、席上「學生の經濟的貧困化は益々甚だしい現在に在つては學內購買所、食堂等に於ける商品の價格値下は學生の切實な日常的の要求である。役員會の決議等をレンレンとして待つて居る時ではない。吾々は宜しく獨立の組織を作つて即刻此れが實行に取かゝるべきである」との提案あり、滿場一致可決され準備委員を擧げて具體的運動の計畫打合せを一任した。其の他寄宿舍入舍制度改善に就いても種々意見出で結局新學年を迎へて促進會の一層の活動と、今後しばしばかゝる會合が開かれて促進會と一般學生との緊急な結びつきを期待すると云ふ熱烈な雰圍氣の裡で促進會の萬歲を三唱して六時半散會した

友響

◇投稿歡迎◇誌上匿名は差支なけれど原稿には必らず所屬學部、現住所、姓名を附記すること◇一篇七十行を超ゆべからず（可成短文を望む）

田中君の非難に

宇都宮德馬

去る學友會の役員會に於て、田中果君は、私の新聞に寄せた小文（論部側面の話の大略）を問題にせられ、その中の「昨秋集中的に表現せられた支配階級の贅澤云々」の一句について、それが、京都帝大の名譽に關するものとして、頑強に、新聞部を非議せられたとのことである。私にとつてはそれは一言あやまてば、嘔いところの御厄介にならぬとも限らない、極めて御親切なる忠告であり、田中君はあたかも私に何か云へと命ずるものゝ樣である。私は、勿論、あの言葉によつて大典に關聯した事實を指して居る。しかし、田中君がわざわざ學生主事とともに心配せられた樣に、大典そのものが贅澤だ、なぞと、苟くも、日本帝國の臣民たる者にとつて、日本國法の支配を受くるものにとつて、極めて危險なことを言つて居るのではない。この點十分に御安心を願ひ度い。しかし田中君よ、よく落ちついて思ひ返して見給へ！昨秋は、その定宿である鐵管の中や、加茂川の川底は洗はれ、浮浪人達は公園や木賃宿から追ひ立てられた危險人物は或は留置場に、或は遠く京都から追放された。京都の町はどこから見ても美しくなつた。そこで大典の盛事が行はれたのである。大官富豪が、綺羅星の樣に京都に集中し、その自動車とゝもに京都に集中した。これを又何をか云はん、私の指したのは別の事實である。大官富豪を歡待する官選は、日夜、一流料亭の門前で「紅燈の巷」と「美女の歡呼」を聞いて居たとのことである。又久原遞相は、藝妓の花代だけで、八萬圓を見積つた大園遊會を開き、青年團は思想善導のためにこの園遊會の警備を命ぜられたとの事である等々數ふるに遑なし。これ等をしも「支配階級の贅澤」として、非議してはならないのであらうか？これ等を少しも非議し排擊する勇氣と、思想的用意とを持たぬとすれば、驚嘆すべき破廉恥、驚嘆すべき低能と云はなければならない。田中君は恐らく「國粹」に熱心なる餘り、人が一つの言葉で、より適當なる事實を意味し得ることを忘れたのでもあらう。しかしかゝる輕率は田中君等の主張にとつても甚だしく危險なことである。よく君達は京都大學の名譽と言はれる。京都大學の名譽とは決して醜態暴露を餘計に出したり、京都大學の學生は溫順だと、資本家にほめられることではない。偏更のこと、馬鹿で簡單で反動的で勞働彈壓に使ひよいなぞとほめられることではないのである。いかなる歷史的役割を果したか、反動的か進歩的かいかなる程度に進歩的役割をかと云ふことが京都大學の終局の名譽を決定する。勿論目前の利益にとらはれて居る、俗薄者流の知り得るところではない唯時と事實の進行が、彼等にも、正しい事を結局は知らしめるけれども、田中君よ！今後京大の名譽を云々する際には、この點を十分考へて戴き度い。

田村教授論文 は、先生御多忙につき一時中止致します。

四月十五日迄休刊 今學期はこれで休刊、次回發行の四月十五日から愈々週刊

學生論文 「思想國難」は記事輻湊のため本號休載

法經批判會 問題も同前

風車

○最近の本紙は赤化したる由。昨日も赤賊、民政黨に共產黨員ある世の中

○今度は同大新聞の解散。早大に、北大に、頻々たる言論の彈壓。是新聞の必要を物語る現實

○全國高校社會科學分子一齊檢束處罰。やつたりな、全國主事會議

○授業料は値上する。思想は調査する。貧乏人と赤い奴とは入學お斷わり

○入學難、試驗難、就職難。三難攻を玉にもせず。暗澹として三月また來る。

CORONA PORTABLE TYPEWRITER
コロナハ携帯用ノ優秀器
英、佛、獨、露語、數、化、工學用凡テ完備
東京銀座 黑澤商店
京都三條 丸善京都支店
神戸三ノ宮 吉田商會
¥135.

廣告

眼鏡 正確 專門 廉價
京都大學病院眼科御指定
府立醫科大學眼科御指定
吉川眼鏡店
京都大學病院前 眼科小兒科門前
電話上四九〇番 振替大阪二八七二八
獨逸カール、ツァイス會社 直取引

京都市內優良藥種商
安價ニシテ效能本位ノ家庭賣藥 調劑 出町藥局 [illegible] 電話上五九四番
藥品 化粧品 洋酒 罐詰各種 調劑 東山藥局 [illegible] 電話上二四〇四番
治療藥品 化學藥品 クリプレル色素 ◆寒暖計 ◆診温計 福知藥局 京都寺町今出川 電話上八三八番

ヘルメス ウヰスキー
世界の名酒

洋服は技術本位 ナミヤ洋服店 [illegible]

H 209

日本名菓 煉羊羹
其他御會用和洋生菓子各種
京都烏丸七條（七條驛停留所前） 駿河屋 電話下壹壹八八番

山本の制帽
祝 御卒業 御入學 御進級
京大學友會共濟部指定
高級學生帽製造
山本帽子店
販賣部 京都市熊野電停前東側
製造部 京都市丸太町烏丸西

ODERMADE
Fashion lane at Daimaru Smart clothes have arrived from England plentifully. There are no wonder to get your satisfaction with there charming materials.

Bargain Sale
Feb. 15th—Mar. 15th
Suits A ¥45.00 B ¥55.00 C ¥65.00
Overcoats A ¥40.00 B ¥50.00 C ¥60.00

READYMADE
Waiting your visit arranging every kind of Suits and Spring Overcoats. They are very convenience and are much less than their real worth. All are the Latest Styles

Suits ¥32.00- and upwards
Overcoats ¥24.00- and upwards
Unifoom-suits ¥24.00- and upwards
Rain-coats ¥9.00- and upwards

TEL. (2) 3121
DAIMARU Shijyo Takakura Kyoto

ノート制度の廢止と試驗制度改革の提唱（下）

法學部　村井時夫

（四）

多くの學生は幾年かの間斯る制度それ自身の影響によつて、無力化され、去勢化され、意氣地なしになり、小心者になり、現實主義に墮し、あきらめ主義者に作られて居る。「講義はつまらぬから學校は休みたい。だがどうせ試驗の時はノートを揃へねばならないのだから出席した方がよいかも知れない。敎授の片言でも聞いて居た方が試驗には利益である。試驗に失敗すれば就職に關係する。結局、學校へは出るべきである」かくして小心者たるべく馴らされてしまつた多くの學生は、自らを甘んじて不生產的な時間浪費をするために敎場へ出る。そして結局、幾年かの後には一個の商品として社會に送り出されるのである。此處に我々は現在の制度、卽ち、械機的勉強、詰込主義的勉強に追はせて學生に餘裕を與へぬ「ノート制度、試驗制度」の「より自由に延びんとする者」に對する明かなる桎梏性と學生の眼を諸多の社會現象より蔽ひ隱して、以つて「必要な常識さへも持たぬ」完全に眠り込まされた學士といふ商品の生產に役立つ所の反動性——體育獎勵と同じ意味に於ける反動性を認識することが出來るのである。それ故に我々は先づかゝる桎梏的な制度の改革によつて我々自身をもつともつと自由に解放しなければならないと考へる。

（五）

現在日本の學生が如何に試驗制度なるものに苦しめられてゐるか、中學から高等學校、大學まで如何に多くの精力的損失——精力の不生產的消費がなされてることであらうかは改めて此處に述べる迄もない。多くの學徒達は「試驗制度はもつと合理的に改めねばならぬ。それは若人に餘りに高價な犧牲を要求する」と一應は改革の必要を論じながら、忽ち「だが現在の制度が斯くある以上結局實力を養成することによつてこの難關にぶつかることが必要である」として改革への努力を捨てゝ「他人より一回でも多くノートの棒暗記をしよう」といふ悧巧者、卑怯者、無氣力者、卽ち所謂勉强家になり切つてしまふのである。然らば、かゝる人達はかくも莫大なるエネルギーを消耗した揚句果して如何なる學的成果を自己の頭腦に集積することが出來るであらうか。二十八歲にして尙且つマルクスとマルサスの區別をすら知らない學生それが彼等の末路である。而も之はけつして單なる皮肉ではない。それは現在の敎育制度の缺陷より起る必然的所產なのである。小生はそれ故に現在の敎育制度は一切の偏見を捨てゝ根本的に立て直さねばならぬと考へる。

自學自習を唱道しても現實の制度がそれを妨げてゐる。詰込み主義の試驗制度が君臨する以上學生の自由なる自主的研究心なるものは培はれない。學生の自主的研究の促進を主眼として統一的に敎育制度の改造を圖ることは確かに現在の日本に於て最も緊急なる當面事だと考へる。學校から生徒を解放したら徹底的に遊ぶだらうと考へることは滑稽なる誤謬である。それは學生時代に運動以外には何物をも知らず、旣成倫理學、國家論を間に合はせの武器として、漸く官職にありついた樣な例外的な人達の持つ笑ふべき杞憂である。我々は我々の學問の自主性の桎梏となる諸制度の改革を要求し敎育の合理化を徹底的に圖らなければならない。

（六）

それ故に我々はまづ自らをもつと自由に解放すべく、そのエネルギーをもつと生產的に有效に消費せしむべく、先づ當面ノート制度の廢止と試驗制度の合理的改革を要求する。試驗制度なるものは元來廢止すべきを原則とする。だが之の撤廢は當面實際的の問題としては不可能であらう。それ故に先づ第一段の前進として論文制度の採用を提唱する。一定期間中の敎材を機械的に暗記せしめ、短時間の試問によつて實力を試みるといふ如き方法を少くとも先づ大學に於いては改めねばならない。そして一定數の論文を課題し、學生の自主的研究に委ねるといふ事かくの如き方法の採用によつて、我々は少くとも、現在より、より以上に有效にその精力を生かすを得、又壓縮されてゐる我々の個性をもつともつと自由に伸張せしめうるであらうことを確信する。我々は最高學府に學ぶ學徒として、當面まづノート制度の撤廢と論文制度への改革を欲求し且つ之れを要求する。

春の日本を巡る 支那留學生見學團

絹笠、重信兩氏の案內で

外務省ではその對支文化事業費の重要なる使途として、每年我が國に留學せる支那留學生の內地見學旅行を行ひ、數年間我が國の學校で、學理を通じて日本を見て來た若き支那のゼネレーションに、今度は實狀を通じて日本を理解せしめてゐる。今年も本學を巢立つ若い異邦の學士二十一名は、學生課の絹笠、重信兩氏引率の下に、來る三月二十一日から內地見學の途にのぼる筈で、先づ東京に赴き、大審院、帝國議會を覗き、春の日光、箱根に遊び、下つて中京に入つて、名古屋製陶や離宮を見學、大阪では造幣局や新聞社、日本ビール會社で、現代日本の科學文明の粹に接して、それより西下八幡を經て、最後に別府で長途の旅行の垢を落して、裸の日本を見るさうである。

これに就て絹笠氏を訪へば、左の如く語つた。

これは、每年の恒例で、大體例年と同樣の旅程です、もつとも未だ詳細には決つた譯ではありません、目的はほんとの日本の實際を見せるにあります、費用は全部外務省から出るんです、私は案內役ですが、これ等の人人は新興支那を擔つて行く人々ですから、思出多い旅にしたいものです

教授會を通過した 植田氏の學位論文

藝術哲學と歐洲繪畫史論

深田博士の後任敎授に內定した植田九大敎授は、かねて本學文學部に學位論文提出中のところ、該論文主査の深田敎授の逝去のためその後審査進捗しなかつたが、同氏を敎授に推すことゝなつたので、田邊博士の手に依つて審査を進めて、去る廿七日の敎授會を經て、いよいよ博士號授與に決した。右學位論文は世間に發表されてをる氏の二著『藝術哲學』と『歐洲近代繪畫史論』で、出版當時いたく學界の耳目を聳だたしめた名著である。文學部の博士を出すのは、二年春の松山直藏氏以後始めてで二年振りである。

同氏は明治十九年、府下綴喜郡普賢寺村の產で、卅八年郡山中學より三高一部に入學し、三高卒へて本學文科大學哲學科に入り、四十四年卒業後直ちに大學院入學、四十五年文學部助手となり、大正八年講師を囑託され、次で十一年助敎授に任ぜらる。十四年美學美術史研究のため、ドイツ、フランス、イギリスに留學して昭和二年十月歸朝、間もなく九大敎授となつて轉任したが、深田敎授宿痾の後を受け昨夏講師となり今日に及んでゐる。

尙樂友會館滯在中の同氏は語る

故深田先生の美學講座を引受けることになりましたが、未だ正式發表を見ませんので、新學期早々から開講するかは未定です、九大の講義もありますので、半年づつ双方で試みることになりませうと（寫眞は植田新博士）

田中君の駁論を駁す

學友會改善促進會

去る二月二十五日の新聞に我が促進會の聲明に對する一代議員田中君の反駁文が載せられてあつた。我々はかゝる非論理的なる反駁に對して殊更にこゝに反駁文を草する程の必要を認めないのであるが、聞くところに依れば、新聞掲載の反駁は單に田中君一個人の意見に非ずして、專務幹事、並びに柄興學會一派の人々の意見を代表して居るとのことである。故に我々は取急ぎこゝに反駁に對する反駁を草する次第である。

我々は我々に對する諸君の反駁を一ツ一ツ反駁して行かうと思ふのであるが、先づ第一に諸君に總括的に質問し度い。「諸君は學友會の自主化、會員一般の經濟的、文化的利益のための學友會の改善といふことに就て當つて考へられたことがありや否や。」と。諸君が役員會に於て學友會改善のための一片議案を提出せられるとなく、ひたすら我々の提出したる議案に反對し否決せんことにのみ狂奔せられたといふ事實は、諸君が學友會の自何等の關心もなくひたすら缺陷多き現在の學友會の現狀維持をこれこととせられて居るといふことを裏がきするものでなくてなんであらうか。諸君は徹頭徹尾現狀維持論者である。專務幹事、並びに專務幹事と結びつき、その保護のもとにある諸君が現狀維持論者であるのは敢て不思議とするに足らないかも知れないが……。

諸君は又現在の學友會に於て運動部偏重の傾向を否定せられて居る論者、保守主義者のみの考へ得ることに得手勝手な考へである。又諸君は言ふ『正當なる方法に依りて選擧せられたる正當なる權限を有する役員會の議決を無視して專制と言はれる程の理由はない、四十四餘對十餘にて決定したることなるが故に專制ではない』と。なんと見事なる保守主義者、專制主義者の正體を我々はこゝに見ることであらう。非論理もこゝに至つては笑止の至りである。言論集會の自由なくして選出せられたる代議員なりや否や。詰問す、言論集會の自由なき選擧は果して正當なる選擧なりや否やと。又役員會はかゝる代議員並びに專制的專務幹事數名天降り的幹事十數名を以て構成せられて居るのである。かゝる役員會を專制的構成と言はずして何をか專制的と言はんやである。かゝる役員會に於て四十餘對十餘を以て議決せられたるは、現在の議會に於て政友會內閣は多數を以て議案を可決するが故に政友會內閣は決して專制的に非ずとなすよりもより以上の非論理的なる兒戲に類する論法である。

諸君の我等の聲明に對する反駁は、田中君の表現を借りれば『あまりに得手勝手なる』而も兒戲に類する反駁である。

我々以下逐次的に反駁して行かうと思ふ。

先づ第一に學友會の規則改正の件に就いて諸君は我々の聲明を反駁せられて居るが、規則改正中に於て、我々の最根本的なる第三十七條の改正案に就ては一言半句も觸れて居ないといふことは一體どうしたことなのだ。即ち規則上明か[illegible]ことになつて居る豫算原案が不當にも專務幹事に依つて作成され、而もそれが事實上決定權を有するといふことは明かに專務幹事の專制的、越權的行爲なるが故に（こゝにこそ運動部偏重、文化部輕視の根本はあるのだ）豫算原案作成を役員會の選むに依る常任役員の手に歸する樣にせよといふ我々の最重要最根本的なる改正案に對して一言半句も觸れ得ないといふことは誠に不可思議なる事實である。それは諸君が如何に詭辯を弄し、非論理を弄ばうとも、現在の專務幹事の專制的越權的行爲を合理化することの出來なかつたことを裏がきすること以外の何物でもない。

法學部の一進步的幹事が規則に背いて豫算原案を專務幹事が作成して居ることを知つて『それで學生の自治と言へますか、それは明かに專務幹事の越權的行爲である』と憤慨歎息せられたことは、尙諸君の耳新なることではないか。諸君は又言ふ『會費五圓が不當に高いとも考へない、現在の學友會の事業を認めるなら相當財源があるまで五圓とするは仕方がない』と。これは諸君が現在の學生の經濟的負擔の深刻さに盲目であり、且現在の運動部偏重並に運動部の冗費に盲目であるか、乃至は意識的に運動部偏重を意圖して居るかの何れかである。我々は多數學生の利益を犧牲にしてその存在を續けて居る運動部事業の徹底的縮小を主張するものである。

又『學友會費を納めずとも學友會の事業に參加出來るではないか』と田中君は書いて居るがつたが故意か過失か我々の議案の歪曲である。我々は一般學生と遊離して居る現在の學友會に對して、學生の關心を喚起し、而して學友會を自主化し、改造せんがために先づ選擧權を與へよと主張したのである。

次に學藝部設置の件に就いてであるが諸君は言ふ『先づ內容を盛つてから形をつくるべきであると思ふ。』と。會員百五十名を有する京大エスペラント會、相當の數を有する京[illegible]して居るそれほど貧弱な部を含む學藝部を果たして[illegible]之を內容なしとすることは[illegible]ざるを得ない。諸君の反對は單なる反對のための反對、駁論のための駁論以外の何物でもない。而して諸君は千名に近い一般學生の熱烈なる要求を蹂躙し去り、而も平然としてそれを合理化せんとして居るのである。かゝる態度をとられる諸君は學友會の進步發達を阻害し、一般學生の利益を完全に蹂躙して居ることに御氣づきないのであるか。

次に共濟部事業擴張の件であるが諸君は『促進會は具體的實行方法を少しも考へない』などと言つて居るがなんたる暴言ぞ。我々はかゝる議案を提出するに就て、共濟部との提攜に凡ゆる努力を拂つたのである。而も最初は我等の議案に賛成するが如くに見えた共濟部は何者に災されてか遂に我々との提攜を拒んだのである。かゝる具體的事情を知らず、鬼の首でもとつた如く『促進會は具體的實行方法を考へない』などといふのは我々から見れば笑止千萬である。

最後に諸君の新聞部攻擊に就て我々も一言する。諸君は言ふ『不穩當なる箇所があつたから指摘したまでゝある』と。諸君の論法をもつてすれば、かの『赤化』『防遏ひ』の指摘であるか、だからこそ我々はかゝる攻擊は計畫的攻擊であり、ために[illegible]せんがための攻擊であるといふのだ。更に諸君は赤化は防止すべき思想善導は呪ふべきものでないとか言つて居るが、諸君は赤化とは如何なることであり、思想善導の正體は如何なるものであるか御存じなりやと借問し度い。諸君の解釋は恐らく建國會以上に出でないのであらう。だからこそ新聞紙上に社會情勢を批判したる少しく急進的な論文が表れると、赤化、赤化と騒ぎまはるのである。

我々は諸君の駁論を一々批判して來たのであるが、田中君の我々に對する非難『あまりに得手勝手なる反駁』なる言葉を我々はこゝに於て諸君に謹んで返上せんとするものである。

我々は我々の運動に對する眞面目なる批判は喜んで受け入れる積りで居る。然しながら『あまりに得手勝手なる』非難と妨害とに對しては斷乎として戰ふことを宣言するものである。不幸にして我々の議案は、否一般學生の熱烈なる要求は諸君等のために蹂躙せられた。然しながら我々はあくまで學友會自主化のために、學友會を學生自身の手にとりもどすために、一般學生の經濟的文化的利益のために總ゆる妨害をはねのけ最善の努力を拂ふことを宣言するものである

咲く花とゝもに 愈々週刊實現

鼓舞激勵の嵐の中に われ等の宿望成る

前號發表の如く、本紙は來る四月十五日より愈々週刊を斷行する。一度この報傳はるや、本紙は多數讀者各位より、日々幾通かの激勵と鼓舞の言葉を受けた。我等は今や現生諸君の支持の大なるを見て今更ながら責任の重大を痛感せざるを得ない。我等の生活の單位は週を以て數へる、さればこそ、我等が多年週刊を熱望した所以である、今や週刊に直面して、我等は益々自由討論の機關、不偏不黨の報道機關たるの使命達成に猛進する覺悟である、幸に倍舊の支持と激勵と鼓舞とを與へられんことを

發行日　每週月曜發行、一年三十五回の豫定

購讀料　一部五錢、一年壹圓五十錢（現在は一圓）但し前納濟の分は從前の通りとし値上を適用せず

學園の消息を知る 唯一の機關を！

新學士諸兄の購讀を望む

將に學士たらんとする諸兄！大學新聞は學內の報道機關であるとともに、學園を巢立つた諸兄を學園と繋ぐ唯一の機關である、この役割は週刊斷行とともに益々意義あるものとならう『何時までも若く！』この爲には本紙は、生活戰線に旅立つ諸兄の好伴侶であると信ずる。申込みは一刻も早く新聞部へ！

卒業を前に 高校に彈壓下る

一、四高、廣島、姬路、高知 松江、佐賀で一齊に

最近二月十日乃至その前後に高等專門學校——一高、四高、姬路、廣島、高知、松江、佐賀、神戶高商等に於て社會科學系分子は一齊に警察の取調べをうけ『社會科學を研究せるもの』と認定の確證を得』るや否や、各學校當局は是に藉口して放校その他の處罰を科しつゝある。その時期を同じくして行はれた點に於て、その方法に於て、右は全國的、計畫的に而も學校と警察との密接な連絡の下に遂行されたものらしく、その直前、一月中旬に全國學生生徒主事會議が行はれたことを考へればけだし思ひ半に過ぎるものがあらう、放校の理由とする所は何れもマルキシズムを研究したとか、研究會を組織したとか、無產者新聞を購讀配布したとかいふことにある。是らの理由により若くして有爲なる學徒は全國の高校から放逐された。

これはいづれも學年試驗直前或は最中に行はれたので、特に表面的反對運動は見られないが、暗憺たる機運が若き學徒の間に漲つてゐる。

理事會の壓迫で 同志社新聞解散す

單なる御用新聞は使命に非ずと

總長選擧を中心として、最近特に甚だしくなつた、同大の敎授學生と新理事會との對立は、遂に同校唯一の學生の耳目、新聞學會の解散となつて現れた。

事の起りは昨秋の失火の直後の敎部總辭職で、爾來同大敎育の最高の意志機關たる敎育部會も開かせず、新任總長に關しても、理事會は一般の意向を無視するを以て、あくまで海老名氏を支持する敎授學生等は急ぎ敎授會、學生大會等を開催して、海老名氏支持と同時に、專任大學長設置等を決議宣言し、新聞部も斯る大學內一致の思潮を反映して、勇敢に大學自治の爲に鬪いて居たのであつた。だからこそ、完全に資本閥々代表するに至つたと云はれる新理事會が、「自發的に同學會は解散せよ」とて二十八日之に解散を餘儀なからしめたのであつた。先に早大新聞を失ひ北大亦發行停止の運命にあり今更に又同大新聞を失ふ。學生よ諸君は何處にか行かんとする。

右に就いて同大新聞學會員は語る

私共は學生新聞が如何なるものであるかと云ふことを充分に自覺して居る、だから當局の壓迫に屈して、我々の新聞を單なる御用新聞、報道の機關にせしめたくない。其故、我々は、淚を吞んで解散した。何故ならば若し現狀を維持せんか陰險なる當局の壓迫は直接に我々の恩師に下り、一步退かんか、旣に學生新聞の使命は失はれる。我學會は、かくして解散させられた。然し我々は此儘屈從はしない、徐ろに英氣を養つて近き將來必ず再起するものであることを斷言する

態度不鮮明の主事と 頻々たる不當檢束

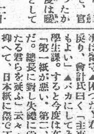
試驗最中に書店や自宅から

十五日既報の如く本學々生が暴行傷害を被つた上、不當檢束を受けた事件に就き、學生主事の警察に對する嚴重な抗議を被害學生より要求したるに對し、學生側の詰のみでは、眞相は解らないから、兎も角調査の上廿五日に解答するといふ主事の言明を得たので、彼等は、當日再度學生課を訪問したるに、學生側も警察側も何れも惡くはないと感じられる。當局者と會見出來なかつたので、眞相は明かにならない。との解に、學生側は破られた制服、だ生々しい傷あとゝを示して、[illegible]の暴行の如何に非道だしかつたかを重ねて言明し、當局の態度の曖昧且つ不誠意極まると憤然として退場したとの由。

尙、本學經濟學部の某君は、二日夜、書物を購ふべく共生閣支店に立寄つた處、居合せた川端署刑事に檢束され、翌夜深更漸く釋放となつた。

更に、去る二十六日、試驗勉强中を文學部の某君は自宅より引致され、試驗であると願つても釋放せず、一晝夜の留置處分で、折角の勉强も水の泡。斯る不當檢束は今や頻々として起つて居る。平和なるべき學生々活を脅かして居る。

茶の畑



先日ある團體が集會をやらうとした時の話。會場に教官食堂を借用しやうと、X君は借用願をかいて代理Y君に學生課へもつてゆかすと會計課へもつてゆくといはれた▲學生課の印がいるといはれた▲學生課へゆくと主事A氏「それは僕の扱ひでない。B主事だ」B主事は留守▲困つたY君、會計に逆戾り、會計氏曰く「主事なら誰でもよい」▲バカにしてゐるとまた學生課。すると今度は在室のB氏「第一紙が惡い。第二、字が下手だ。總長に對し失禮に當る。紳士たる君らを疑ふ」云々▲逆つ腹を抑へて、日本紙に墨で丁寧に書き直してもつてゆくと、主事「會場の管理は會計課だ。だからまづ會計課の印が必要だ」憤慨しても埒は明かぬ▲七戾りして會計課「會合の性質の監督は主事だ」Y君ヤケになつて「勝手にしやがれ」▲さて主事室に奔命に疲れたY君に主事曰く「君は代理人だからいかん」▲そこで本人たるX君、Y君と共に學生課へ出頭に及ぶ。主事曰く「敎官食堂使用は遠慮されたい」。

學生諸兄の店

春物品揃

ワイシヤツ・ネクタイ
綿毛各メリヤス肌着
其他
高級 舶來雜貨・化粧品

三月上旬 特提品

春向實用靴下	三足組	￥0.65
純毛メリヤスシヤツ	上下各	￥2.60

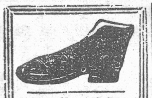
牧野洋品店
電上一〇五三・熊野神社前

洋服は吉田神樂坂 藤馬洋服店 電上五三七七

實驗服の御用は専門の 福田洋服店
京都市竹屋町寺町東入る 電話上二一五九番 振替口座大阪二八二九〇番

齒科
百万遍終點西一丁北入
小山齒科醫院
東京齒科醫學士 小山正光

洋服は寺町夷川の 林洋服店 電話上四六五一



靴・靴・靴
時の流に從つて走る 村上へ……
靴の御相談なら先づ 村上へ……
（靴も各種取揃へてあります）
村上進三郎商店
本店 新町通り鞍馬口上る 電西三八五九番
支店 吉田近衞町一・東一條横丁 電上三一八番

洋服は百萬遍電停西 タチバナヤ洋服店 電話上四六七〇番

菓子界の霸王
森永の直營
森永キヤンデーストアー
森永の— 菓子と喫茶
階上喫茶部
クラス會、高等學校同窓等各種御會合に御利用下さい能ふ限り御便利に御相談に應じます
熊野電停前 電話上四九八三

佛國郵船M.M.汽船出帆
神戶京町六八 電三宮一一九〇
橫濱神戶—馬耳塞—二週間定期
經由港—上海。香港。西貢。新嘉坡。古倫母。亞典。ジブチ。
日數三十八日

船名	噸數	神戶出帆
アンドレルボル	一三、〇〇〇	三月十九日
ポルトス	二〇、〇〇〇	四月二日
シユーソン	二四、〇〇〇	四月十六日

アスト	一四、〇〇〇	四月卅日
ダルニヤン	一四、〇〇〇	五月十四日
スフインクス	一八、〇〇〇	五月廿八日
コムピエーニュ	一五、〇〇〇	六月十一日
ゼネラルメチンゲル	一八、〇〇〇	六月廿五日

△食卓葡萄酒無料提供
一等	四百六磅	七四磅
三等	九〇八三磅	二等 六五磅

時代の要求とレディメード

1. 品質の良きこと
1. 價額の安きこと
1. 何時でもスグ間に合ふ
1. 仕立とスタイルの優秀なること
1. 大量にて撰擇の自由なること
1. 凡て絕對の責任を有すること

上木堂洋服店 卸賣部

制服上下	24.00 … 35.00
合服主服	35.00 … 50.00
スプリングトーコ	22.00 … 45.00

京大學友會員限り 正價ノ五分引

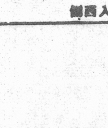
京大學友會共濟部御指定
京都市丸太町河原町東入 （電話上二九七六番）
上木堂洋服店 註文部

犧牲的覺悟を以て
精良の品を
驚異的安價に
御提供致します

皆樣の共濟部は皆樣の御利益と御幸福を祈つてゐます
御卒業の洋服はぜひ共濟部指定商を御利用あらんことを……

御入學にはゼヒー 御指定の丸ニ特製 角帽を!!

御卒業には 瀟洒な感じ 高尚で趣味的 色と柄の— 中折 帽子を!!



マルニ帽子店
京都市熊野神社北入西側

◎全部一割引
引續き本年度も御指定になりました。何卒御用命御利用の程をお願ひ致します。新入學の方で下宿又は空間の御入用の方はハガキにて御申込下さい。無料で御世話致します。

支那文壇の現勢

魯雅儂

一九二六年以來支那のプロレタリアートの革命が燎原の勢を以て政治的に進出したと同時に、あらゆる方面に於ける闘爭が尖鋭化され其の反映として文壇に於いても相敵對する二大陣營が形成された

一方に大ブルジョア階級を代表する新月グループと小市民階級を代表ずる語絲グループがあり、他方に無産階級を代表する創造社一派がある

新月グループの中で最も知られて居る作家は徐志摩と云ふ男であるが、彼自身がブルジョアである以上、その積極的に資本主義社會を擁護するのも宜なる哉である、だが現段階の支那に於いては彼等がいくらブル文化を謳歌しても文藝上の「威嚴と健康」(之はこのグループの標語だ)を高調しても猙獰なる壓迫の爲に威嚴を傷けられ殘酷なる搾取の爲に健康を害れた讀者大衆には全く顧られない、彼等は尚存在して居るもの〻、もはや奄々たる殘喘を保つてゐるに過ぎない

他方語絲グループは新月派よりは讀書層の間に稍々勢力を持つて居る、それは全支那に彌漫して居る白色テラーに怯えて、絶えず動搖する青年達の間に地盤があるからである、革命するのは恐いし、だが反動呼ばはりされるのも厭がるのはこの連中である、この點から彼等の珍妙絶倫なる理論が生れて來る、曰く

我々はプロレタリア革命に反對しない、從つてプロレタリア文藝にも反對するものではない、だが我々はプチ・ブルであり、インテリゲンチヤである、人間は自分の事しか語り得ないが故に、プロレタリア藝術を創造する事は我々には不可能だ、我々は以後も依然として小市民的作品を書くであらう、併し反革命はしないから無産階級も我々の存在を認むべきだ

かくの如き階級的背景を持ち、又かくの如き旗幟を樹てて居る彼等に作品がどんなものであるかは想像に難くないであらう、無力な哀訴、メランコリクな氣分、センチメンタールな感情、空虚な思想之が總べてゞある

正に沒落せんとする階級と運命を共にして居る上述の二團體に對立して、勃興しつつある階級も共に擴展し成長するのは實に創造社である、反動的政府の彈壓と狂暴なる白色テラーにも拘はらず、創造社は不屈不撓に闘爭を持續して居る、かくて創造社は最近遂に政府から封鎖は命ぜられた、だが、プロ文藝は既に支那文壇の主潮となつてゐるのである

この一派の主なる作家及理論家は日本の色々な雜誌や新聞に依つて屢々紹介された事があるからここに贅述する必要はなからう、只近頃目醒しく進出して來た新詩人黄藥眠に就いていくらか詳しく述べるであらう

彼は今の處はまだ詩集「黄花崗上」一册しか出して居ないが、プロレタリア詩人としての良き素質を具へて居る事は充分に示して居る、二三年來、支那革命のテンポは愈々早く成り社會の動搖は益々激しくなつた、から云ふ社會的條件の下に現はれた支那の詩人は大抵激越なる調子で、革命を抽象的に、ロマンチクに歌ふ丈であつた「革命せよ！」と煽動する丈であつた、併し何故革命しなければならぬか？而して革命は果して勝利するだらうか？詩の上で斯くの如き問題の解答を與へたのは彼を以て嚆矢とする

彼は抽象的ロマンチクにではなく、寫實的に社會の變動を描き、プロレタリアートの革命的感情を具象化する、彼は革命を、プロレタリアートが帝國主義の桎梏から又國內の支配階級の搾取から脫却する唯一の血路として理解する、彼は革命の勝利を確信して歌ふ、併し彼の確信は斷じて妄信ではない、社會の發展の必然の結果として、又プロレタリアートの成長の必然の結果としての革命の勝利の確信である、彼は現在のプロレタリアートの悲慘なる生活を直視しつつも、暗い憂鬱に陷る事なく、朗らかな調子を以て輝しい未來を豫言する事に依て讀者大衆を勇氣づける、彼の作品はイデオロギーの點からは可成批判に堪へ得るものではあるけれども、表現形式に於いては粗雜な憾がある、殊に彼は好んで舊韻を用ゐる、之が少なからず彼の詩の革命的氣分と昂奮の效果を弱めて居る、しかし、兎に角、彼は現代支那文壇に於いて、非常にその將來を屬望されて居る詩人である

牢獄からの手紙

太田遼一郎

葉書落掌、お願ひしておいたこと早速取計つて下さつて有難う。厚く御禮を云ふ。

アリストテレスはまだか。早く入れて呉れ給へ。尙、今度來る時に、又、栗原氏宅に寄つて、有島全集第十一卷を借りて來て欲しい。それから來た時序に「面會」もお願ひする。二三、頼みたいことあり。河上さんから、入れてもらつたラマルクの「動物哲學」は大變いゝ。カントには屢々厭きがちだ。だがこのいかめしい「呪文」の全體系と格闘してゐると、嚴寒の牢屋にゐることを時々忘れる。

——昨年來から僕の身邊多端を極めてゐる。第一にこの公判によつて求刑合せて十三年。滿洲にゐる僕の弟も最近監獄につながれた。妹は勞働婦人となるべく家をとび出した。等々。すべての「悲劇」は畢竟するに僕を「鐵の如く」無感覺に、強く太く鍛錬するための要具にのみ役立つ。かくて僕は愈々元氣だ。安心して欲しい。鐵窓にひゞき來る工場の汽笛。都會の騷音。そのすべてを吾々は「歷史の釜」のにえくりかへる音ときく。冬の空は靑く冴えかへり、牢獄の中は靜かだ。然し吾々はめくるめく世紀のテムポと鋭い緊迫的な空氣をひしひしと感ぜずにはゐられない。——途はネフスキー大街の坦路でないと云へ、君たちの步みと生活が今如何に困難かは察してゐる。疲れ屈して少しでも頽廢的になるな。君たちの眼が確信と決意にいつも光りかがやくように！やがては新しい風も吹いては來よう。

僕は健康、最後まで生きのびるだらう。長い年月の「强制勞働」によつて、强健に造りかへられた身體と鳴り響く意思とを以て、やがて遠い日の後僕は再びキャムプに踊りゆくであらう。どうか、それまで君も丈夫でゐて呉れ。それをのみ祈る。今日は僕の歌はない。その代りにある若きゲノッシンが最近僕に呉れたよい歌を書から

燃へてゆく途ははげしく遠くとも信念一つの火焰たやさじ

二月七日朝。

友よ、ではさらば元氣に！

【附記】筆者太田君は本學在學中學聯事件に連座し、昨年の三・一五事件により入獄中の人であるが、本文は本學の某君に宛てた手紙を、某君が本紙に寄せたものである。

オニールの新斷層

工藤信一良

農民と下級船員とのありの儘の生活を克明に描き出す劇曲家としてオニールは登場した。所が、「泉」(一九二一)と呼ぶ傳說劇を一轉機として、彼の戲曲はその思想に於て、取材に於て從つて又形式に於て著しい變化を生じた。

「愛は不斷に花咲く花園だ。人生は泉だ、蒼い天空をのぞんでは上るが、いつもしくじつては落ちてくる——地上の花に接吻する爲に。」「泉」の中にはこんな意味の詩が繰り返しくゝ歌はれてゐる。「ラザラス」(一九二七)で說かれる思想も之と同樣にあるが儘の人生の肯定である。「本當の生と云ふものは過去と未來とにあるのだ——現在は幕間劇だ——過去と未來の奇妙な幕間劇だ」この臺詞が最近作「奇妙な幕間劇」に一貫して流れた思想である。これらの作品によつて作者の語らんとした事を要約してみると、人生は神祕的な假の宿だ。天上への憧憬も美しければ地上へのたち難い執着も亦美しいではないか。泉の樣に上つては落ちる人間の姿をそのまゝに肯定せよ。人生の不可思議は不可思議としてその儘に受け入れよ。と云ふ事になる。即ち、かくして我々は人生の淸濁を包含して現實社會を見離して魂の世界に生きる東洋的哲人としての、人生にまき散らされた夥々の珠玉の樣な神祕に陶醉する神祕詩人としての、オニールの新しき斷層を發見したのである。

オニールは何故にかく變らねばならなかつたか。それに對して二つの理由を擧げる事が出來る。

初期の彼の戲曲は人生の醜惡な諸相の暴露であつた。彼はこれを體驗したのだ。淫賣婦、水夫、火夫、貧農、黑人さうした文化のどん底にあへぐ人々を彼の目で見たその悲鳴を彼の耳で聞いた。そして彼は救ひ難いペシミズムに陷つたのである。それから逃れる道がたつた二つあつた。何故にかく人生は醜惡なのか、一體誰がこの原因になるのか、どうすればよくなるのだ、と積極的に追窮するか、或は消極的に東洋風の悟りを開いて、そんな物質界の俗事はわづらはしい、精神界の幽玄さと神祕さに醉ふかの二途である。そしてオニールには後者を選んだ。そして精神界の底知らぬ神祕な霧の中へ逃避してしまつたのである。

今一つの原因はオニールの經歷が之を說明する。體驗時代と創作時代が彼程、明瞭に分かれてゐる作者は珍しい。數年の放浪生活の後にサナトリウムに肺病の身體を休める迄は彼は一度も創作に筆を染めた事がなかつた。其の後一度劇作をやり出してからは書齋の中の生活が彼の生活する殆んど總てであつたらしい。現在迄凡そ十五年にわたる長い書齋生活は彼の體驗から生々しさを奪つてしまつた。最初は體驗を描いてゐた彼が、机上の思想を說く樣に變つてきたのは自然の勢でなからうか。そこで彼は人生とは何ぞや、藝術とは、美とは、愛とは？かうした永遠の問題を頭腦で弄ぶ樣になつたのである。

かう書いてきた私の筆の裏に諸君は、オニールの新傾向に對する私の不滿を充分に見てとられた事と思ふ。併し劇として最近の諸作が異常な傑作であると云ふ點では私と雖も毫も異論はない、その圓熟した技巧に於いて、高らかに香る香氣と藝術家的氣魄に於て、それらは到底初期の寫實主義の幼稚な作品とは比較にならない。唯私の最も恐れるのはオニールが現實の社會から逃避して、永遠の眞理を託宣する「グロテスクな愚爺」になり終らないかである。

併し(私の迂回に迂回を重ねる論理を今一度許してほしい。)現在と雖も鋭いリアリストとしてのオニールを全然見失つたと云ふわけではない。何故なら、彼自身、唯心的神祕主義の弱點を知つてゐるから。知つて苦々しく自己を嘲笑してゐるから。「ラザラス」に於ては民衆が斷じてラザラスによつて說かれる作者の思想を理解する事が出來ぬものだと云ふいたましい事實が大切なテーマになつてゐるし、「マルコ、ミリオンズ」に於ては高潔な精神主義の東洋の人人を物質萬能主義者マルコが現實的に攪亂して精神主義なるものがいかに現實的に薄弱な基礎の上に立つものかを示し、自らを嘲笑してゐる。即ち彼は底知れぬペシミズムから逃れんとして唯心的神祕主義の霧の中に姿をかくしたが此處は決して安住の地ではなかつた。この霧は、一

▽學燈△

最近に發表された本學教官の論說及び著書の一覽表

▼松本文三郎　佛教史論　三圓半　弘文堂
▼森口繁治　憲政の原理とその運用　三圓半　改造社
▼山田正三　改正民事訴訟法第二卷　四圓　弘文堂
▼河田嗣郎　經濟學原論(評論社版現代經濟學全集第三卷)　一圓
▼新村出　異國情趣集　一圓八十錢　京都更生閣
◇橋本傳左衞門　自作農地創設維持問題批判(エコノミスト二月十五日號)
◇藤井健二郎　階級闘爭の論理的批判(祖國三月號)
◇石田憲次　カーライルとゲーテ(英文學研究第九卷第一)
◇石田憲次　バーナード・ショウの小說(ミューズ一月―三月號)
◇濱田耕作　考古學上より見たる東亞文明の黎明(歷史と地理二月號)
◇潁原退藏　抽書漫錄(國語と國文二月號)
◇故深田康算　アミエルの日記の一節(哲學研究二月號)
◇植田壽藏　美意識の深底より見たる光及び暗(同上)
◇和辻哲郎　日本語に於ける存在の理解(同上)
◇中村要　反射望遠鏡の知識(天界二月號)
◇末川博　フランスに於ける權利濫用理論(法學志林一月號)
◇末川博　權利と法律との相關(法學新報一月號)
◇鈴木虎雄　詩(藝文二月號)
◇新村出　天草版異本どちりな・きりしたん(同上)
◇新村出　霄物の工藝(大朝二月二十六日)
◇末廣重雄　支那に於ける領事裁判權の撤廢(法學論叢三月號)
◇織田萬　ホルジョウ工場に關する事件(同上)
◇恒藤恭　ヘーゲルによる自然法學批判(同上)
◇渡邊宗太郎　土地收用請求權(同上)
◇井上直三郎　破產法雜題(同上)
◇末川博　死者の得べかりし純收益の算定(同上)
◇竹田省　共同振出に係る約束手形の振出地(同上)
◇神戶正雄　電氣稅論(經濟論叢三月號)
◇米田庄太郎　綜合社會學概念(同上)
◇小島昌太郎　財產生命保險(同上)
◇黑正巖　美濃口騷擾史(同上)
◇谷口吉彥　ワーグマン教授の「景氣變動論」(同上)
◇汐見三郎　東京市財政十年計畫(同上)
◇近重眞澄　煉金術に就いて(化學研究所講演集第一輯)
◇喜多源逸　最近化學工業の發達(同上)
◇近藤金助　滋味食料品の調製と化學(同上)
◇渡邊俊雄　金屬の腐蝕(同上)
◇志方益三　電氣泳動並びにその應用に就て(同上)
◇堀場信吉　光の化學作用と生命(同上)
◇喜多源逸　人絹强度增進の一方法(同上)
◇鈴木文助　グリセリドの分離に就て(同上)
◇小川健一・渡邊俊雄　電氣分解溶液淸淨劑としての活性炭素(同上)

河上肇博士の資本論入門を讀む

田中俊次

マルクス主義は單なる理論ではない、實踐に依つて、益々其の正當性の主張せられる理論であり、理論の生命たる實踐上の辨證法的統一はマルキシズムに於いて始めて可能なのである。斯るが故に實踐の輝ける闘士、河上肇氏の資本論入門が、世界的權威と推稱せられるのも當然のことである。

氏は既に第一卷第七分册を以つて資本論中の最難關と稱せらるゝ資本論第一篇第一章「商品」の項を終り、今拔けんとする第八分册に於いては第一篇第二章「交換過程」を解說して居る。

此の「交換過程」は、第一章「商品」と第三章「貨幣」との間の架橋となるもので、一個の商品に含まるる使用價値と交換價値との、二つの對立的矛盾の辨證法的解決は貨幣を齎す必然的過程にして、貨幣は一般的等價物として、凡ての商品所有者によつて擇ばれた、共通的普遍性を持つた商品、即ち特種な商品である。貨幣こそ交換過程の必然的な産物であり、商品生産社會には「貨幣の魔術が起り、貨幣偶像の謎は、眼に見えるやうになつた、人目を眩惑せしむる、商品の謎に外ならぬ」と云ふ詞を以て「商品の物神崇拜性とその祕密」を鋭く、徹底的に而も平易に暴露されてゐる。

かくして、帝國主義的反動の時代即ち階級闘爭の最も困難なる時期たる現在、多くの先進資本主義國の歷史の明かに示して居る如く今日迄の樣に階級闘爭の比較的平和なる時代にあつては、無産階級運動の華かなる表面をのみみて進步的インテリゲンチヤ、小ブル的自由主義者等迄も味方面を裝つて居た、だが吹き荒ぶ反動の時代に直面しては、充分なる理論的確信、實踐的決意、及び階級的良心なき彼等臆病者達は先を爭つて、我々の陣營から沒落した、種々なる口實、遁辭の下に。斯る反動の時代には、特に「無智と隷從と、盲目的信仰とを强ひられ」て、「長い物には卷かれろ 泣く子と地頭には勝たれない」と云ふ悲慘なるあきらめの中に、長い歷史を續けて來た特殊國日本に於いては、日に月に彼等けめざめつゝあるとは雖も尙動ともすれば彈壓に屈せんとする意識低き大衆、食と職とに飢え惱みつゝ自らの道を求めあぐんで居る未だ無智なる多くの被抑壓無産大衆が多い。其故にこそ彼等の武器、我々の武器、人類解放の聖典、「資本論」の平易なる解說書は第一番に必要であつた。勿論「資本論が解る」輕薄なるインテリゲンチヤの養成のためにではなく、プロレタリアート及び、プロレタリアに沒落せんと意識的に努力する人達に、實踐の伴侶として、解放戰の指針として。(京都、弘文堂發行、一分册、三十錢內外)

牧健二氏の「日本法制史論」を讀みて

法學士 和田篤憲

先日京都の先輩から弘文堂の發行にかゝる牧健二氏の日本法制史論を一讀するやうに薦められたので早速とりよせて讀んでみた。日本法制史は我が國に於ては未だその研究が盛んではない。明治以後の大著としては三浦周行氏の日本法制史がある外最近瀧川政次郎氏の日本法制史が公刊せられたにとどまつてゐた。今回牧健二氏の日本法制史論を得て斯界のために大いに喜ぶ次第である。勿論これまでにも部分的については諸種の法制史があらはれてゐるが立派に法制史の面目を保持してゐるものは以上の三著に過ぎないと私は考へてゐる。

牧氏の著はこの中に於ても特に異彩を放つたものといへよう。それは從來の法制史が法律の歷史的解釋にすぎないものが多かつたのである。この著は全十卷にして完成するといふ話であるが現在はその第一卷朝廷法時代の上卷をあらはされたにすぎないが尙同氏の著眼の甚だ立派なところをものがたつてゐる、左に少しくそれについて述べてみたい。氏は多くの學者がともすれば陷らんとする弊害あるひは偏見より巧みに逃がれてゐる、即ち在來の法律的解釋のみによる所謂法制史ではなくて廣く文化史の立場より達觀して解釋を下し且法制のみによる狹き解釋より起る誤謬より自らを救濟してゐる例へば唯物史觀と法制史研究についても相當の注意を拂はれてゐる點である。同氏は次の如く述べて居られる。

「次に一言を要するものは現代の代表的歷史觀ともいふべき唯物史觀と法制史研究との關係である。唯物史觀從つて歷史の經濟學的解釋が多大の眞理を含んでゐる事は否み難い事實である現代の歷史研究は大なり小なり此史觀の感化を被つて居るから、後世から見たならば、恰も吾等が過去の政治史は偉人の政權爭奪史であつたと言ふが如くに、現代の歷史が經濟的史觀で左右された歷史であつたと言ふやうに批判せられるかも知れない。而してマルクス(K.Marx)エンゲルス(F.Engels)の如きは法制及び法制史に對して經濟學的研究をこのみ多大なる刺戟を與へて居る。法制史を書くに當つても、法制史の經濟的基礎に注意を向けることは、極めて現代的であるのみならず、又極めて必要なことであるとも言ひ得る」

尙又法制史の研究に當りては須くその當時の意識即ち當時の法律意識に同情する必要がある理由は法律制度の研究が若しも現行法の研究であるならば法文の解釋のみによつて滿足せられようが現に居住してゐない世界の事を解釋するには如何にしても現代の法律解釋ではその當時の法律を解釋する事ができないからであると述べられてゐる。尙法制をその時代と場所とに結びつけ一國の文化並びに國民の生活と法制との關係をよく解釋しないと昔の法制に活きた智識を得る事がむづかしいとも述べて居られる。

斯くして氏は理解をもつて歷史研究の眼目となし、古來の法制を沿革的によく理解する事が研究の重要なる態度であるとなし、結局古來法制を理解するのは各時代の人の法律意識に同情してその法律を悟得し法律意識の統一點を捉へて法制發達の過程を明らかに認識する事に外ならないとしてゐる。

次に氏の時代區分をみるに、元來法制が存在するのは法權の支持によるといふ事實に基いて時代を分ち次の三期の大區劃をたてゝ居らるゝ即ち

A、朝廷法時代(國初より平安朝時代の末まで)
B、武家法時代(鎌倉時代の初めより江戶時代の終りに至るまで)
C、立憲法時代(明治維新以後今日に至るまで)

而してABを各々三期に分ちCを二期に分ち法權による時代の三大別と小區分とを示せば

A、朝廷法時代
1、氏族不文法時代
2、律令格式法時代
3、公家法成立時代
B、武家法時代
1、初期武家法時代
2、大名領地法時代
3、武家法完成時代
C、立憲法時代
1、立憲法準備時代
2、立憲法成立時代

以上甚だ簡單ながら私は牧氏の日本法制史論の著眼點及び其の敍述方法につき少々述べてみたいつもりである。この書は氏の計畫の一部に過ぎないが尙その大著たる面目を物語つてゐると思ふ。終に著者の健康を祝して筆を擱く。

(京都弘文堂發行定價四圓)

―昭四、一、十五、稿―

廣告

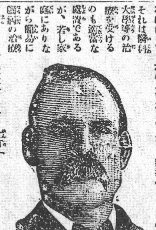
●神經衰弱と不眠症の人
神經過度使用の人
記憶增進を望む人
レーベン
一週間を試みに用ひよ●

●頭痛持 ●逆上性 ●便秘症 ●不眠症

世の中で腦病ほど苦しい病はあるまい。神經衰弱のヒドイのになると立派な學生紳士でも理性を失ひてよく自殺する位である。また婦人のヒステリーも此頃の陽氣が一番大敵で便通がなく頭痛、逆上、めまひ、落着きのないイライラしい苦惱は何に喩へる物も無い位である。之を治すには頭腦にリンサンを補給して疲氣に負ける腦の弱性を引直して精力のタップリとある腦にしなければならぬのである。リンサンを補給すればヘッキリした頭になる事は醫學上の定論である。

●記憶減 ●精力衰 ●焦慮症

では腦病の方から逃げ出して終ふ位な有効なリンサンを頭腦に補給するにはドウしたらよいかといふと、それは醫科大學等の治療を受けるのも適當な處置であるが、若し家庭にありながら簡易に腦病の治療を施さうとするにはリンサン含有の名高い腦病藥レーベンを服用すれば一番早道である。レーベンは人の知る如く岡田、磯山、伊藤各醫學博士や有名なロビンソン博士等の證明推賞を博した良藥であるからこれほど安全な方法は無い。レーベンは吾人指導の下に加藤、榊木兩技師によりて製藥されたものである。その奇効極めて



その療法に迷ふ人が多い。希くば凡ての療法を試みて効なき患者と雖も最後の試藥として本劑レーベンを試みられよ。日本全國は勿論海外個要地の藥店で賣つて居る。改正定價は五十錢、一圓、二圓、三圓、五圓、十圓の各種。また本舗に直接御注文せられても宜しい

峻烈なるレーベンを是非服用すべき人は
●神經衰弱で困つてゐる人
●讀書してもよく頭に入らぬ人
●時々頭がボンヤリする人
●夜眠れず夢はウツラウツラする人
●神經統一を缺き根氣なき人
●感情が激し易く取越苦勞する人
●遺精夢精のため不快衰弱の人
●血の道ヒステリーの婦人
●頭をよくして勉强したい人
●常に恐怖の觀念に襲はれ易き人
●便秘症で困つて居る人

右の樣な人は直にレーベンの服用を實行せられたい。頭の中に何ともいへない心强さを覺え大に喜びを感ずるに至るのである。

ロビンソン博士證明の一齣に曰く
頭痛にも有効なり

ロビンソン博士が自ら患者に使用してかくの如き一節を得た。殊にレーベンは彼の六黃類の下劑でないから服藥後下痢、腹痛等は起らない、又鼻藥の類ではなく腦の營養素「リンサン」を多量に含有せる高級藥で[illegible]

注意 右の記事を讀み……神經衰弱治療の必要を感じたる諸君にして、服藥前に尙詳しく腦病の眞理を知り度き人へは
▲增田醫學博士、森學士著「精神療法」全一册
▲西醫學士著「神經衰弱療法」全一册を
ハガキで御申越次第無代進呈す

東京市銀座弓町二二 振替東京七七七七番 電話京橋三〇八四番
大阪天王寺上汐町六 振替大阪三四四番 電話南四三八番
弘濟藥院 中南定太郎藥房

日米登錄商標 千
松浪グラス製造所製品
顯微鏡用 デッキグラス スライドグラス 薄板ガラス一切
京都代理店
各學校 各病院 丹保屋
實習服 診察衣
高級文房具 各學校制服 特製細罫ノート
製造發賣元 丹保屋商店
京都市吉田近衛町 電話上三二四六番 振替大阪五四七九七番

只今デッキグラスニ關スル實際ノデッキグラス御紹介申上ゲマス

甲「ドウモ先日買ツタ此ノ顯微鏡ハ相當値段ヲ出シタガ惡クテ困ルヨ」

商人「イヤ、ソンナ事ハアリマセン」

甲「ソレナラ之レヲ見給ヘ」

商人(顯微鏡ヲ覗キ見テ)「コレハ不思議ダ、一體ドンナデッキグラスヲ御使用ニナッテ居マスカ、(デッキグラスヲ點檢シテ)イヤコレヂヤ、ドンナ顯微鏡デモ駄目デスヨ、顯微鏡ニハ夫々適當ノ厚ミノデッキグラスガアルノデス、ソレデデッキグラスニハ種類ガ色々アルノデスヨ、ソレニコンナ安物ノデッキグラスヲ御使ヒニナッチヤ顯微鏡屋ハ泣キマスヨ、安物買ヒノ錢失ヒトハ此ノ事デスヨ」

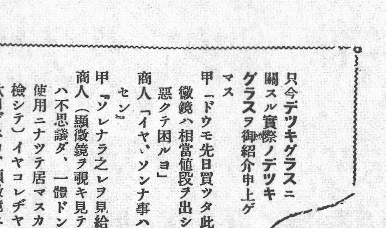
甲「ソレヂヤドウシタラヨイカ」

商人「(千印デッキグラスヲ取リ出シテ)此ノ印デ品質優良ナモノヲ使ヒナサイ、此ノ印ノ品ハ海外諸國ニ廣ク輸出サレ而モ獨逸デモ本品ヲ指定シテ使用致シテ居リマスカラネ(千印硬質性デッキグラスヲ其顯微鏡ニ用ヒ)試シニ之レヲ御覽ナサイ」

甲「イヤー之レハ素敵ダ、ナル程此ノ顯微鏡ハ上等ダネ」

商人「尙念ノ爲申上ゲマスガ硬質性ハ絕對ニ曇リノ來ナイコトヲ保證致シマスヨ、又使用スル顯微鏡ニ夫々適當ニ厚ミヲ一定シテ製作致シテアリマスカラ御注文ニハ厚ミヲ御指定致サネバナリマセンヨ」

甲「ナル程、ソーカネ、解ッタヨ」



日米登錄商標 千
千印デッキグラス及スライドグラスハ全國到ル所ノ機械店デ取扱ッテ居リマス